

学校だより

令和元年10月31日(木)

明るく 元気に 前向きに

第11号

いわき市立藤原小学校 (文責 校長・伊達多津也)

11月を前にして、子ども達の通学服も「防寒」を感じるようになってきました。(その中で、半袖の子がいます。「半袖でも寒くない」と言える子どもがうらやましいなあ。)

温かなご対応に うるうる

学習発表会での参観の皆様からの反応がとても温かく、発表をしている子ども達に「がんばって」「しっかり」と応援してくれているご対応を、肌で感じる事ができました。

一人で話す場面で、会場にいるお母さんとお姉さんが、大きな声でがんばれと励ましている姿。

子ども達からの「会場の皆さん、どうですか」に答えてくれる姿。

3択問題でも、盛り上げようと意識して、まちがってくれる姿。



校内発表会を終わって、子ども達にはうけるものが、本番ではどうかなと不安を感じていたものが、会場の皆様からの温かなご協力と対応により、子ども達も「演じて良かった」感となりました。

さらに、想定外の機械故障による1年生の劇に対して、会長さんより「1年生の子ども達、すばらしい」とほめていただいたこともありがたいなああと、感じました。

去年より今年、今年より来年の向上をめざして、「これから」の学校生活を充実させていきます。

時間を守る

・「下校時刻は、午後2時30分」と、学年だよりに書いているのに、実際には午後2時40分を過ぎないと、我が子の下校にはならない。

・これからの予定もあるのに、たくさんのやるべきことに都合をつけてきたのに、何分も待たせるの。

・私たちの学年は、こうして時間に合わせているのに、遅れてきてもあわてようもしない。などなど

「集団での時間を守る」ことについては、余裕を持って、あわてずに合わせたいところです。学校は様々な突発的なことが起こることがあります。そういった特別な場合は別にしても、時間を守ることは徹底させたいことです。下校時刻についても、本校において、1学期にはずいぶんと、5分・10分とずれた下校となっていたことがありました。

そこで、教職員間で、共通に課題としてとらえ改善していくこととしました。今ではしっかりと時間を守れることができていることが、一歩前進です。(当たり前のことですが、当たり前でできる学校としていきたいことです。)

【校長のひとりごと】 藤原小は自然を感じる

藤原小の学校生活が、自然を色濃く感じる事ができることが、とても子ども達にとって貴重なことと感じてきました。通学路には桑の実・若竹・野いちご・やまなし、学校の敷地内にも梅や桃、ミカンや柚子など季節に合わせて、花が咲き実を結んでいます。

しかし、校地が山に囲まれているため、校庭などに今までも、獣が姿を現してきたそうです。「猿がいました。」「蛇もいます。」「野ウサギが校庭を走っていたんです。」子ども達情報もリアルなことばかり。

最近では、スポ少で体育館から帰ろうとしたら、猪を見ましたという情報もいただきました。自然が豊かでいいなあという段階から、気をつけていく段階になっています。猪は夜行性ですので、さらに気をつけてください。(猟友会設置の捕獲用檻が体育館裏にあります。)